



~Supporting Activities for Female Initiative in the Research Environment in OITA~

## 平成29年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 採択



大分大学長  
北野 正剛

大分大学は、昨年4月に「ダイバーシティ推進本部」を設置し、推進本部には「男女共同参画推進室」に加え、「若手研究者育成等支援室」、「障がい者等支援室」を新たに設け、多様性を認め、性別に拘わらず、一人ひとりがその能力を十二分に発揮できる大学づくりに取り組んでおります。

このたび、平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択され、本学を代表機関とし、共同実施機関の大分工業高等専門学校、フンドーキン醤油(株)、三和酒類(株)、三井住友建設(株)、並びに、協力機関の住友化学(株)大分工場、大分キャンノンマテリアルと共に、研究環境を含めた機関全体のダイバーシティ推進、及び女性研究者をリーダーとした産学連携の共同研究を進めてまいります。

今後、様々な取り組みを予定しておりますが、女性研究者のみならず、本学に在籍するすべての研究者、教職員にとっても、働きやすい職場環境づくりに努めると共に、ダイバーシティの推進は、地域社会における「知の拠点」としての本学に課せられた社会的使命でもあると認識しております。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



副学長(ダイバーシティ担当)  
松浦 恵子

大分大学は、平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の採択を受けました。

本事業は、「女性研究者・技術者支援」と「働き方改革」の2つの車輪でダイバーシティを目に見える形として実現するものです。女性研究者・技術者がリーダーとなって共同研究グループをまとめ、リーダーシップスキルを磨き成果をあげることで、ダイバーシティ研修を通じて働き方改革につなげることで、異業種交流によって世界を広げていくこと、こうした小さなステップを地道に積み重ねていきます。そして、6年間の事業終了後には、地域のものづくり企業とその人材育成機関にとって、ダイバーシティが推進され、女性が活躍し、男女ともに働きやすい地域社会の実現につながることをめざしてまいります。さらに共同、協力機関を拡大し、本事業が大分・九州の地に広がる活動も続けていきたいと思っております。

どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 概要

#### ＜共同実施機関＞

- 独立行政法人国立高等専門学校機構 大分工業高等専門学校 ・ 三和酒類株式会社 ・ フンドーキン醤油株式会社 ・ 三井住友建設株式会社

#### ＜協力機関＞

- 大分キャンノンマテリアル株式会社 ・ 住友化学株式会社大分工場

主な取組として、

#### ◆女性研究者・技術者をリーダーとした産学連携共同研究

この活動と成果により、女性研究者・技術者自身のキャリア意識の向上と同時に男性の潜在意識の改革につなげ、女性の上位職比率と研究・技術者比率の増加・拡大を目指します。

#### ◆スキルアップに関するセミナー

英語論文セミナーや研究倫理教育セミナーなどの実施により、知識を身に付けスキルやキャリアのアップにつなげます。

#### ◆産学共同異業種交流会

異分野の女性研究者・技術者・職員の交流会を定期的に開催します。越境学習を通じ、他の会社の有効事例などを学び、自組織の取組に活かします。参加者全員でダイバーシティ推進に対する意識の共有と学習を行います。

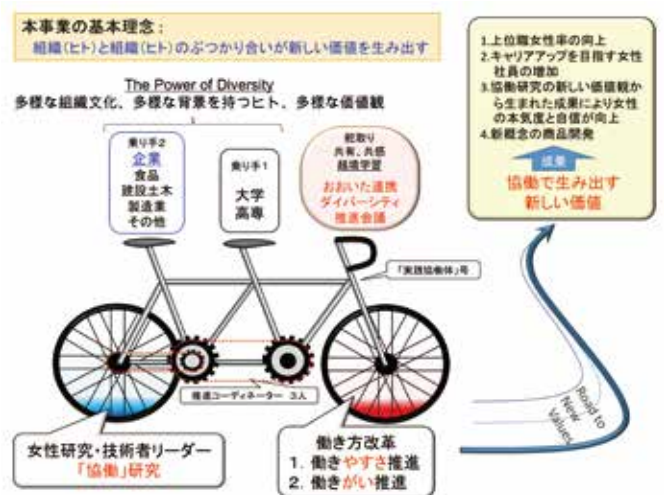
#### ◆ダイバーシティセミナー

ダイバーシティに関する知識やノウハウを共有し、女性研究者・技術者の研究環境整備、さらには男女問わず働き方改革につながる意識改革を目指します。

### 組織体制の模式図



### 協働活動の基本理念模式図



### ◆ダイバーシティセミナー

開催日：平成29年11月24日(金)

岩佐礼子氏(東京大学大学院客員共同研究員)を講師にお招きし、「世界の多様性から見つめ直す日本社会」と題し、グローバルな視点からダイバーシティについてお話いただきました。

23名  
参加



### ◆ダイバーシティトップセミナー 開催日：平成29年12月18日(月)



「経営と人材戦略の観点から考える～ダイバーシティの重要性～」と題し、河野真理子氏(株式会社キャリアン代表取締役/人材育成コンサルタント・ダイバーシティコンサルタント)が講師としてご担当くださいました。

本セミナーは、管理職員を対象としたダイバーシティの意識啓発のためのもので、北野学長、理事をはじめ、本学管理職員の他、共同実施機関など学内外から多くの参加がありました。

36名  
参加

### ◆英語論文の書き方セミナー

開催日：平成29年12月12日(火)

小野義正氏(理化学研究所創発物性科学研究センター)を講師にお招きし、英語論文の書き方セミナー～中級～を開催しました。「英語論文の発想法と論文執筆の鉄則」や「英語論文の作文技術と文法事項」についてお話いただき、論理的思考力も身につくセミナーとなりました。

50名  
参加



### ◆研究倫理教育セミナー

開催日：平成30年1月24日(水)

「研究活動におけるコンプライアンスについて学ぶ」と題し、中安豪氏(ロバスト・ジャパン株式会社代表取締役)を講師にお招きし、事例を交えながら研究倫理について学びました。

17名  
参加



### ◆ダイバーシティキックオフシンポジウム 開催日：平成30年2月1日(木)

「女性研究者・技術者がさらに輝き、活躍するために」をテーマに、レンブラントホテル大分にて開催しました。来賓として神山修氏(文部科学省大臣官房審議官生涯学習政策局担当)と柴田尚子氏(大分県生活環境部長)にご挨拶いただきました。基調講演には、町田智子氏(朝日新聞社取締役CSR/教育事業/女性プロジェクト)と吉澤明美氏(旭化成株式会社人事部ダイバーシティ推進室課長)を迎え、多様性が生み出す斬新な発想や多角的視点によるイノベーションこそが、組織の成長戦略・経営戦略のカギとなりうるという提言に加え、企業の取組等をご紹介いただきました。

160名  
参加

パネルディスカッションでは、共同実施機関の代表者をパネリストに迎え、ファシリテーターの松浦副学長進行のもと、「女性の働き方」や「支援制度活用の問題点と対策」等について、意見交換が行われました。

当日は160名の方にご参加いただき、大盛況で幕を閉じました。



### ◆ダイバーシティ講習会

開催日：平成30年3月14日(水)・15日(木)



11名  
参加

昨年のトップセミナーでご登壇された、河野真理子氏を再び講師にお招きし、2日間にわたりダイバーシティ講習会を開催しました。ダイバーシティの基本編から実践編まで深く学び、参加者からは「大変勉強になったので、次回フォローアップセミナーを是非開催していただきたい」という要望が多くありました。

### ◆異業種交流会

開催日：平成30年3月15日(木)

18名  
参加

学内からの参加者が10名、他機関からの参加者が8名でした。



終始和気あいあいとした雰囲気の中、ダイバーシティに関するグループワークなどを行いました。自分たちの中にあるアンコンシャスバイアスについて考える良い機会となったのではないのでしょうか。また、他組織の人と話すことにより、新しい気付きや学びがあり、自己成長に繋げるとともにネットワークを広げる場となりました。